

令和6年度 第27回 南都留地域教育フォーラム

様々な立場からみる 学校部活動の地域移行

～ 持続可能な協働に向かって～

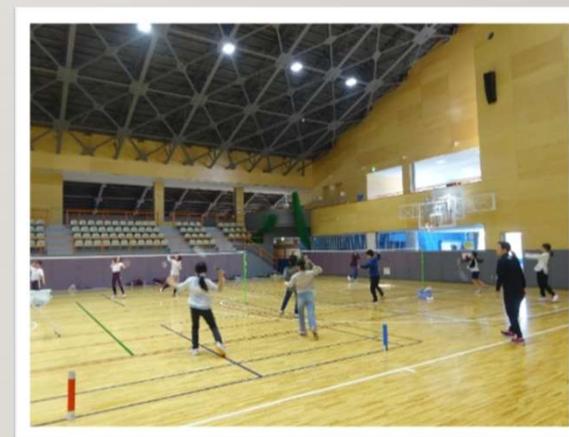
富士河口湖町 総合型地域スポーツクラブ クラブ富士山

アシスタントマネージャー 土屋ひとみ

富士河口湖町 総合型地域スポーツクラブ「クラブ富士山」

設立：2010年2月23日【富士山の日】

- ☆富士河口湖町 町民体育館を主会場
- ☆子供から高齢者まで町内外を問わず参加できるプログラムを展開



いつでも参加OKプログラム

☆たのしいバドミントン

☆大人のenjoy sports

☆NIGHT ZUMBA

☆リラックスヨガ

☆朝ヨガ

☆貴女の時間

☆親子体操教室

☆みんなでつながりレーマラソン

☆産後ケア

- 会員登録（年間登録料）なし
- 都合の良い日時に参加できる
- 参加料は1回あたり200円～500円

会員制プログラム

- **大人のプログラム**

- ☆ヨガ ☆ピラティス

- **子どものプログラム**

- ☆なんでもキッズ・ジュニア

- ☆**バドミントン**

- ☆たいそう

- ☆ZUMBA Kids Jr

- **中学生部活動【ラグビー／**バドミントン**】**

- **年間登録料**

- ☆大人 町民2000円、町外3000円

- ☆子ども 町民1500円、町外2500円

- **参加料**

- ☆チケット制（1枚500円／回）

- ☆期ごとに集金

中学生ラグビー部

保護者、指導者からの要望

- * 部員が少なくて大会に出られない
 - * クラブチームとしてやっていただけじゃないか？ 指導者はいる
- 山梨県ラグビー協会は承認済み



○富士河口湖町「クラブ富士山」として保険の加入、練習会場の確保

×所属メンバー（下中／吉中／忍野中／山中湖中） 富士河口湖町民がいない



×山梨県小中体連の許可が得られないため「クラブ富士山」の参加は認められない



「地域クラブ活動」とは各市町村の協議会が認定したクラブのこと

各市町村に地域移行のための協議会が設立されていない

中学生バドミントン部

2018年度 保護者からの要望

- 小学生の部でバドミントン教室に参加しているが中学校でもバドミントンを続けたい
- 部活動にしてもらえないか？



- 河口湖南中学校に部活動の「**新設**」を嘆願 「**季節部**」なら可能
教育内大会のみ引率承諾

2019年度 クラブ富士山に中学生バドミントン部を設立

- 保護者会の設立、練習会場の確保、外部指導者依頼

2022年度 創部4年目で河口湖南中学校「**特設部**」に昇格

- 教育内大会のみ引率承諾、**学校内での公募も可能となる**

2024年度 勝山中学校も部活動に

- 教育内大会のみ引率承諾、外部指導者依頼



クラブ富士山 中学生バドミントン部

【年度登録料】 クラブ富士山2,000円 日本バドミントン協会1,500円

【部 費】 毎月3,000円（指導者謝金に充当）

【大会参加料】 1種目につき1,000円程度（教育内大会は学校が負担）

【その他】 体育館使用料、シャトル代はクラブから支出

【活 動 日】 学校の定期試験や学校行事を優先、部活動等休止の要請が出た場合は学校に準ずる

月・金曜日17：00～19：00 水曜日17：30～20：00

土曜日9：00～12：00

【令和6年度大会】

（教育内大会）☆5月選手権大会 ☆7月県総合体育大会 ☆10月県新人大会

（県協会大会）☆9月中学1・2年生交流大会 ☆1月中学学年別大会

☆3月会長杯争奪大会中学の部

（その他大会）☆8月富士吉田バドミントン交流会 ☆11月・3月大月オープン

令和6年度山梨県小中学校体育連盟参加資格について【抜粋】

2 参加資格の特例

(3) ① 山梨県小中学校体育連盟主催大会（選手権・総体・新人戦）の参加を認める条件

ア 市町村教育委員会の管轄する運営団体（*1）が実施主体（*2）として認めたクラブであり、かつ、大会参加について協議会（*3）等での協議を経て、市町村教育委員会に認められた地域クラブ活動であること。

*1 **総合型地域スポーツクラブ**、スポ少、市町村協会等

*2 **運営団体から派遣された指導者や団体が実際に指導等を行うもの**（各種競技等）

*3 学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に向け、**行政・学校・スポーツ・文化芸術団体・保護者等の関係者で構成し、新たな地域クラブ活動と連携する体制を整備するために情報共有や連絡調整を行うもの**

エ 地域クラブ活動にあたっては、本大会に出場するためだけに設立されたものではなく、「地域」における継続的な活動を確保しようとする目的のもと、原則として複数学年の選手が所属し、日常的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもと適切に行われていること。

中学生バドミントン部

学校の部活動ではない

クラブチーム扱い

クラブチームでは試合に出場できない

富士河口湖町に協議会が設立されていない

「地域クラブ活動」として認定されていない

- ☆大会には「湖南中／勝山中」として出場
- ☆学校経由でないと大会に参加できない
- ☆教育内大会への引率（外部指導者だけでは引率が出来ない）
学校・先生に負担をかけている

大会へ参加するまでの流れ

生徒	練習																	試合	
事務局	練習会場確保	練習計画打合せ	予定表作成・配布	部費の集金		学校よりメール受信	試合の打合せ	選手選考	学校へ エントリー依頼			学校よりメール受信	組合せの確認	学校へメールの送信			事務局よりメール受信	生徒・指導者に 組合せ配布	連絡係
学校				専門部よりメール受信	事務局へメール送信			事務局より エントリー依頼	専門部へメール送信		(確認)メール受信	事務局へメール送信			事務局よりメール受信	専門部へメール送信	(確認)メール受信	事務局へメール送信	試合の引率
指導者	練習計画打合せ	メニューの作成				試合の打合せ	選手選考												試合の引率

学校経由でないと大会に参加できない ⇒ 学校と事務局の仕事量が増える

外部指導者

顧問の教諭等と連携・協力しながら**部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。**
活動中の事故等に対する責任の所在が不明確であることなどから、
外部指導者だけでは、大会等に生徒を引率できない

部活動指導員

部活動の顧問として技術的な指導を行うとともに、担当教諭等と日常的に指導内容や生徒の様子、事故が発生した場合の対応等について情報交換を行う等の連携を十分に図る。

- * **実技指導**、安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- * **学校外での活動（大会・練習試合等）の引率**
- * 管理、部活動の管理運営（会計管理等）
- * 年間・月間指導計画の作成
- * **事故が発生した場合の現場対応** 等
- * 生徒指導に係る対応
- * 用具・施設の点検
- * **保護者等への連絡**

事務担当者の叫び



☆ 事務局のお仕事

☆事務（保険加入、登録関係、**個人情報**の管理、**部費等の集金**）

☆練習会場の借用

☆**指導者の確保**、**定例会議**（練習日程、選手選考等）

☆**連絡調整**（学校 ⇄ 指導者 ⇄ 生徒 ⇄ 保護者）

☆会計（謝金・会場使用料等の支払い、部費の管理）

☆**練習への立会い**（事故等責任問題、出欠確認）

☆生徒・保護者の苦情処理（人間関係、選手選考等）

行政担当者 or コーディネーター or クラブ事務局
☆一体誰がこれだけの仕事をやるの？ 継続するのは大変ですよ！

指導者の声

<p>大変だと感じる事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆仕事の都合で教える時間がなかなか取れない ☆時間の調整（今は問題ありませんが仕事が変わった場合） ☆レベルにあった練習メニューを考えるとや体力向上の取り組み方など ☆自分の技術不足（サポートが精一杯です） ☆結果を出さないと部活としても弱者になって励みがなくなるように考えます ☆勝負に拘るべきか悩みます ☆言葉遣いや注意の仕方 ☆思春期の対応
<p>良かった事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆進学してもバドミントンが続けてくれるのはとても嬉しい。教えて良かったと思います ☆中学生とバドミントンを通して関わる事ができること（異世代交流） ☆子供の成長がみれること ☆クラブ富士山でバックアップしてくれるので安心してやれること。楽しい時間を過ごさせてもらってます！
<p>ボランティア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆無償でもお願いされたいと思います ☆お手伝いできることがあるなら出来る範囲で参加させていただきますが優先にはならないかも

指導者として学校部活動の地域移行について どのようにお考えですか？

- 資格取得にかかる時間と経費がネック
- 資格取得をしなくてはいけないのであれば軽い気持ちではお受けできない
- 数年は指導できるが、いつまで続けられるか？ 後継者の育成は難しい。
- ケガやトラブルが起こった場合、外部指導者では対応できない。責任がとれない。
- 子供たちが休日まで部活をしたいのか疑問。
- 学校の延長としての部活動なのであれば、学校との連携や教育的指導も意識しなければいけないのかなと思います。それをコーディネートするのは大変だな、と。
- 指導者は資格で技術的なところは水準を保てるのだらうと思いますが、「この人なら任せられると誰が判断するんだらう？」「責任者はどうするんだらう？」など課題が沢山ありそうだな、と思います。

生徒・保護者の声

	生徒	保護者
思い	<ul style="list-style-type: none"> ☆バドミントンがやりたい ☆クラブ富士山でバドミントンを始めて、もっと上手になって試合にも出たい ☆先輩を見て興味を持ち始めた。また遊びでやっていて楽しく感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆部活動には所属してほしい ☆何かスポーツをやって欲しい ☆本人がやりたいと決めたことなので一生懸命頑張ってもらいたい
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ☆学校敷地内で活動したい ☆学校でやってないからちょっと大変だった ☆練習会場まで遠い、時間に間に合わない ☆大会前の壮行会に出してもらえない ☆卒業アルバムの部活動に載せてもらえない ☆下校時間やスケジュールが常設部向けのため練習時間と合わない ☆平日の時間が早いので急いで帰ること ☆学校にいい部活動がなかった ☆既存の部活動に所属しづらい ☆親に両立できるのかと言われた ☆コーチ陣によって教えて下さる内容が、真逆のときやずれていることが多く、混乱している部員も私も含めて少なくはないと思う。コーチ陣に統一してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学校敷地内で活動してほしい ☆学校外なので自転車で体育館まで行くのが心配 ☆活動場所が学校から遠かったり送迎が毎回になるのでかなり負担が大きい ☆送迎の負担を減らしてほしい（練習・大会） ☆月曜日と金曜日は17時からなので学校にお迎えに行かないと間に合わない ☆送迎が親の負担になる。 ☆難しい問題ですが学校の部活動であれば大会へも学校からバスが出ることもあってうらやましい。 ☆試合の日に仕事がある時は休めない日もあり送迎に行けず友達にお願いする事がある ☆お金はかけたくない（部費） ☆保護者として関わらないといけない事が多かったので正直大変 ☆学校外の活動も正規の部活動として認めてほしい

	生徒	保護者
良かったこと	☆部活動の選択肢が増えた	☆部活動の選択肢が増えた
	☆他校の生徒と仲良くなれた	☆他校の友達も出来て楽しそうです
	☆練習時間、練習場所がしっかり確保されていた	☆良い指導者、メンバーに恵まれてとても楽しく部活ができた。 技術面でもしっかり指導していただいたので上達した。
	☆専門のコーチに指導してもらえた	☆小学校の頃はスポーツが苦手で他の子と比べても全く体力がなく不安でしたが、今は体力もついてきて運動が好きになったかなあとと思います。
	☆大会も練習も楽しいし、みんな仲よしだしコーチもいい人ばかりでバドミントンが上手になれた	☆指導者の方も知っていたので他の部活動を選ばれるよりも正直安心感がありました。
	☆技術が向上し大会に出場できた	☆小学校からやっていたので中学でも続けられるのは良かったなと思いましたが、学校の部活動より時間が遅いので習い事や塾などと両立できるのか少し心配しました。
	☆経験者が指導してくれるので技術がより向上した	☆確実に体力がつき運動能力が上がりました。本人も喜んでいるので、選んでよかったと思っています。
	☆設備がいい	☆費用や大会などもある程度把握できていたため気持ち的にも楽でした
	☆先生たちがいない	☆家族全員がプロのバドミントンの試合やパラバドミントンに注目するようになりました。「上手になりたいから上手な人の試合を見て学ぶ」 こういう姿勢はこれまでなかったので、とても良いことだと思います。
	☆普通の部活よりも揉め事がなかった	
☆体力がついたことはもちろんスポーツの楽しさに気づくことが出来た		
☆先輩との関係を良い形で築けた		

各市町村「令和8年度より休日の中学校部活動の一つ以上の地域クラブ活動への完全実施を目指す」ことを目標



部活動の地域移行がニュースにもなっていますが
保護者としてどのように感じますか？

学校の先生の負担も大きいと感じているのでクラブチームでの活動は良いと思います。

部活動と違って部費がかかるとなると、無理に部活に入らなくてもいいんじゃないかという家庭も増えるのではないかと思います。

指導者の確保が難しかったり、部活の時間が遅くなったりという課題も出てくるかなと思います。

指導者と相互の信頼関係があって初めて成り立つものだと思います。

「指導者ごとにやっていることが違ってどうしていいかわからない」と子どもが言うことがあります。

指導者間でもコミュニケーションをとっていただき、よりよい部活動の時間になればいいと思います

部活動を指導できる方がどういう方で（資格など）、どのようにして選ばれるのか正直わかりませんが、あくまでも中学生が学校教育内で出来る範囲のものでいいと思っています。

本人の努力が足りない、欠席するのは論外ですが、少なくとも上手くなりたいと思って努力している子供が取り残されるような指導の仕方や指導者は今回の地域移行にはそぐわないはずです。

部活動を行うことで心身を鍛える、向上させるなどという本質を理解していただける方にご指導いただける地域移行の制度であってほしいです。

これは子ども側にも多分に問題があるとは思いますが、指導者の方が若いと SNS で繋がったり言葉遣いを始めとする距離が近いと感ずることがあります。

子どもには再三言い聞かせていますが、あくまでも指導をして下さる方なので練習時間のみ親しい関係が双方にとって良いと思います。

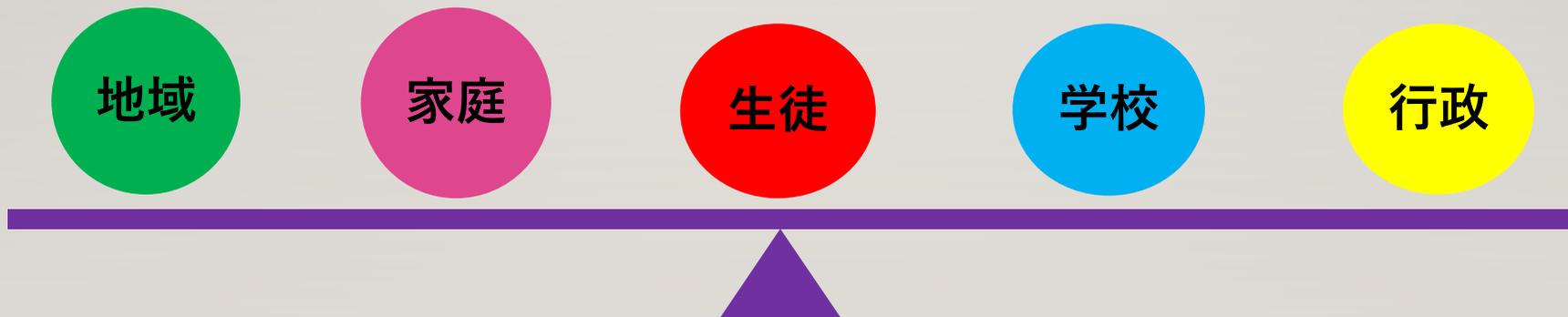
こういった問題は、学校を離れて地域移行をすれば必ずでると思われ、事前に双方に注意と自覚が必要だと思います。

保護者も強制ではなく出来る人が部活動をお手伝いしたり、観覧したりする形にすることでより開かれた部活動になるのではないのでしょうか。

最後に、クラブ富士山の部活動が地域移行の先進的な姿だと思っています。

協働 (collaboration)

複数の主体（家庭・地域・学校・行政）が目的（生徒の健全育成に向けて）を共有し、各々の特性・能力を生かしながら、お互いを尊重しつつ、対等な立場で協力し合い一緒に活動すること。



♥ 大人の都合で生徒が犠牲にならないために
誰もが無理なく継続できるように連携しましょう ♥

持続可能な協働に向かって



ご清聴ありがとうございました